

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	特別支援教育課長 三島賢隆	電話番号	0852-22-5420
----------	---------------	------	--------------

事務事業の名称	特別支援教育就学奨励費		
目的	(1) 対象	特別支援学校に在籍する幼児・児童・生徒	
	(2) 意図	教育の機会均等の趣旨にのっとり、障がいのある幼児・児童・生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。	
事業概要	「特別支援学校への就学奨励に関する法律」に基づき、就学奨励費の支給要件を満たす特別支援学校への幼児・児童・生徒の保護者等の負担能力の程度に応じ、通学費、学校給食費等就学に必要な経費を負担・補助する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	就学奨励費支給率	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	%
			取組目標値					
	式・定義	就学奨励費の支給要件を満たす者への支給率	実績値	100.0				%
			達成率	-	-	-	-	
2	指標名		目標値					
			取組目標値					
	式・定義		実績値					%
			達成率	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	171,128	195,594
うち一般財源 (千円)	98,910	105,266

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

・目標値に対して、実績立100%を達成しており、支給要件を満たす対象者に対して就学奨励費の負担・補助を行っている。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

・支給要件を満たす全ての対象者に支給できた。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」
特になし

②困っている状況が発生している「原因」
特になし

③原因を解消するための「課題」
特になし

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

引き続き、適切に対応する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価 (任意記載)

--